

繰越 1,771万9千円
※30年度へ繰越貯金 6億238万6千円
※財政調整基金へ積立

歳出 126億991万8千円

歳入 132億3,002万3千円

歳入歳出差引額
6億2,010万5千円

子どもや高齢者、障がい者などの福祉に使ったお金

道路や公園、まちづくりなどに使ったお金

学校教育や生涯学習などに使ったお金

行政の運営、広報紙の発行、税の賦課・徴収などに使ったお金

町民の健康管理やごみ収集などに使ったお金

町の借金の返済に使ったお金

農業・畜産振興などに使ったお金

消防・防災設備や消防団の運営などに使ったお金

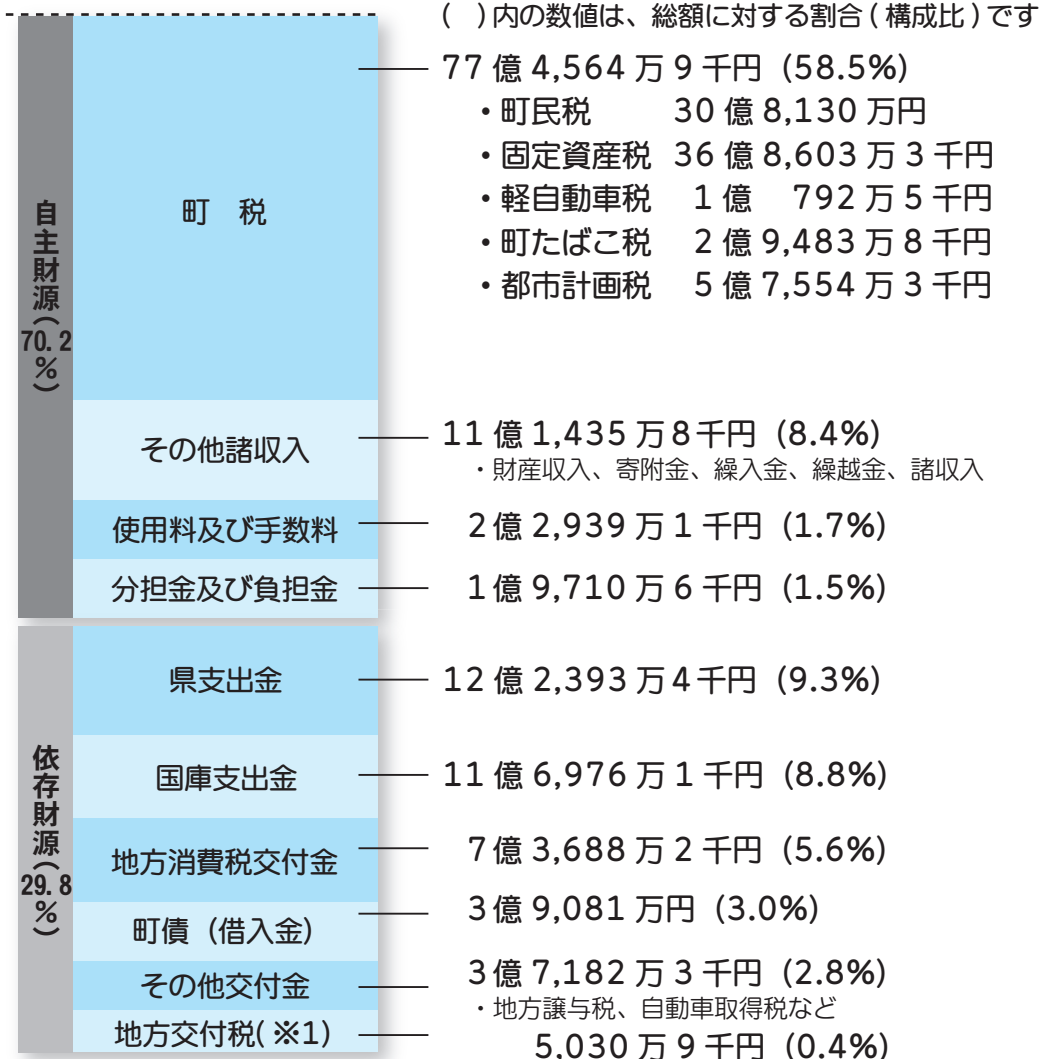
町議会の運営や議会だよりの発行などに使ったお金

観光や商工業の振興などに使ったお金

勤労者福祉や雇用対策などに使ったお金

民生費
49億7,783万7千円(39.5%)土木費
18億876万7千円(14.3%)教育費
14億9,587万1千円(11.9%)総務費
11億5,943万2千円(9.2%)衛生費
10億1,595万8千円(8.1%)公債費
7億4,714万6千円(5.9%)農林水産業費
6億746万3千円(4.8%)消防費
5億1,831万4千円(4.1%)議会費
1億3,391万4千円(1.1%)商工費
1億1,611万8千円(0.9%)労働費
2,909万8千円(0.2%)

一般会計



※1 地方公共団体の収支不足を補うために、国から交付されるお金

特別会計

保険料や使用料等、特定の収入で実施する事業の運営に必要な経費を扱う財布

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	44億9,918万4千円	42億6,324万円
後期高齢者医療	4億8,438万9千円	4億8,328万1千円
介護保険事業	26億3,956万6千円	25億4,205万4千円
農林集落排水事業	6,064万1千円	6,064万1千円
下水道事業	14億2,081万3千円	14億2,081万3千円

水道事業会計

地方公営企業法に基づき指定された事業で、独立採算制の経営方式をとっている

会計名	歳入	歳出
収益的収支	8億8,248万3千円	7億2,666万8千円
資本的収支	6,553万4千円	3億1,113万2千円

ことばの説明

■自主財源

町税や施設の使用料、住民票の発行手数料等、町が自主的に収入することができるお金。自主財源が多いほど安定した行政運営ができるとされています

■依存財源

国や県からの補助金等一定の基準で交付されるもので、町が独自に収入額を決められないお金

■財政調整基金

地方公共団体の貯金。積立や取崩しをしながら財源を調整して、計画的な財政運営を行っています

■一般会計(一般的な行政運営に必要なお金を扱う財布)

平成29年度一般会計の決算額は、歳入が132億3,002万3千円、歳出が126億991万8千円となりました。差引額の6億2,010万5千円のうち、1,771万9千円は翌年度へ繰り越しをしましたので、残りの6億238万6千円が実質的な黒字額となりました。

■歳入

歳入では、法人の景気上昇等に伴う地方税(町税)の増加や畜産・酪農収益力強化整備特別対策事業補助金(県支出金)等の増加により、前年度と比較して8億8,052万1千円(7.1%)の増加となりました。

■歳出

歳出では、歳入と同様に畜産・酪農収益力強化整備特別対策事業補助金の増加や、知多武豊駅東土地区画整理事業や武豊港線の拡幅に伴う物件移転補償費の増加により、前年度と比較して5億5,152万7千円(4.6%)の増加となりました。

そのほか、平成29年度に実施した主な事業については7ページをご覧ください。▶問合せ 役場総務課

■平成29年度に実施した主な事業

平成29年度に実施した主な事業とその決算額を紹介します

🌿 ともに創るまち

- ・富貴地区エリアを元気にする取組みを地域のみなさんと一緒に考えました…86万4千円



- ・町民幸福度等調査業務委託料 …… 203 万円
- ・提案型協働事業交付金 …… 73 万 5 千円

🌿 ふれあいのあるまち

- ・ゆめたろうプラザで各種講演やコンサート等を開催しました …… 2,462 万 4 千円



- ・中央公民館施設営繕工事 …… 457 万 9 千円
- ・野菜茶業跡地用地買収費 …… 4,930 万 6 千円

🌿 いきいきと暮らせるまち

- ・憩いのサロンや体操サロン等の介護予防事業を行いました …… 1,459 万 2 千円



- ・高齢者交流事業委託料 …… 954 万 4 千円

🌿 安全に暮らせるまち

- ・内閣府、愛知県と共催で地震・津波防災訓練を行いました …… 50 万円



- ・道路新設改良事業 …… 2 億 1,756 万 9 千円
- ・防犯灯設置費補助金 …… 492 万 9 千円

🌿 子どもが健やかに育つまち

- ・北中根認定こども園開設に伴う準備工事等を行いました …… 5,911 万 1 千円



- ・小学校施設営繕事業 …… 1,499 万円
- ・中学校施設営繕事業 …… 680 万 6 千円

🌿 自然環境と生活環境が調和したまち

- ・紙類のリサイクル処理を始めました…486万9千円



- ・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金 …… 3 億 9,833 万 6 千円

🌿 活力に満ち誇りを持てるまち

- ・地域交流施設指定管理料 …… 3,644 万 1 千円
- ・知多武豊駅東土地区画整理事業 …… 2 億 7,228 万 6 千円

支出合計 285 万円/年

食費(人件費)	54万円
日用品の購入(物件費)	53万9千円
家族の医療費(扶助費)	52万3千円
家や車の修理費(維持補修費)	2万5千円
家の増改築費(投資的経費)	29万4千円
子どもへの仕送り(他会計への繰出金)	41万5千円
借金の返済(公債費)	16万9千円
自治会費(補助費等)	29万4千円
株券購入費(出資金等)	1万4千円
貯金(積立金)	3万7千円
翌年に繰り越す額	
	15万円

一般会計の決算額を、
1年間の家計(年収300万円)に
例えてみました。

まちの家計簿



収入合計 300 万円/年

給料(町税等自主財源)	198万1千円
親からの仕送り(国・県補助等)	80万5千円
貯金の取崩し(基金からの繰入金)	12万5千円
借金(町債)	8万9千円

財政の健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成29年度決算について下記のとおり指標を公表します。いずれの数値も各基準を大きく下回っており、健全な状態にあることがわかります。

健全化判断比率		早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	13.68	20.0
②連結実質赤字比率	—	18.68	30.0
③実質公債費比率	2.0	25.0	35.0
④将来負担比率	9.5	350.0	

自治体の財政破たんを未然に防ぐために、4つの指標が定められています。
指標の数値が一定の基準に達すると、健全化へ向けた計画策定が義務付けられたり、借金をするのにも厳しい制約がかかったりします。

- ①本町では一般会計の赤字の程度。他の会計へもお金を繰り出す一般会計が赤字である場合、非常に厳しい財政状況であるといえます
- ②すべての会計を合わせた赤字の程度
- ③借金の返済やそれに準ずる経費の程度
- ④一部事務組合も含めた借金の残高や、土地開発公社からの土地の買戻し等、これから先に見込まれる経費の程度

※「—」と表示されているのは、赤字額がないため比率が算定されていないことを意味します

※早期健全化基準は「注意」、財政再生基準は「警告」程度です

⑤資金不足比率		経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
下水道事業特別会計	—	20.0
農業集落排水事業特別会計	—	20.0

⑤表に示す会計ごとの事業規模からみた資金不足の割合

※「—」と表示されているのは、資金が不足していないため比率が算定されていないことを意味します